

笹川保健財団 地域啓発活動助成

(西暦) 2020年 2月 11日

公益財団法人 笹川保健財団
会長 喜多悦子 殿

2019年度地域啓発活動助成

活 動 報 告 書

標記について、下記の通り活動報告書を添付し提出いたします。

記

活動課題

地域啓発活動

ほっこりカフェ

活動団体名： 一般社団法人ライフナビゲート 在宅看護センター佐賀ほっこり

活動者（助成申請者）名： 城戸麻衣子

令和元年度 第1回ほっこりカフェ 報告書

日時 令和元年 6月16日

時間 10時30分～12時00分

場所 星空学習館(西与賀コミュニティセンター)

職員 (10名)

城戸、馬場、武藤、平尾、吉松、白濱、村岡、堤、黒木、馬場あ

参加者 9名

○理学療法士による腰痛予防体操 + 質問タイム

理学療法士の村岡主導にて、腰痛とは何か・腰痛になりやすい動きの説明後、目の前で正しい姿勢や、座ったままでできる腰痛予防の体操等を行った。

体操後は質問タイムとして、体の痛みに対する相談や疑問に関する発言があった人に対しアドバイスや回答を行った。

○音楽と珈琲の時間

参加者である徳永さまの協力で、「東京のバスガール」「青い山脈」「ふるさと」など、ギターの演奏を行った。少し動いたことで乾いた喉を飲み物で潤し、皆で歌を口ずさんだ。更に、参加者から「流行った時期に結婚した」と思い出話をされた方も居た。

演奏の後、落語を行う一幕も見られ、皆で和やかな時間を過ごすことができた。

○その他 健康相談・介護相談

地域の参加者から、今後今回の理学療法士が行った体操などの出張講師をお願いしたい旨の発言があった。

総括

訪問看護を利用されていた旦那様を亡くされた奥さまや現在の訪問看護利用者、地域の人などにご参加いただいた。訪問看護利用者はタクシーを手配し参加していただいた。また、当事業所にある車椅子介助車両も使用することができた。

全体的にやや時間に押されている感じはあったものの、それぞれの内容に関しての反応は良好であり、アンケートの満足度も高い。

最初はやや硬かった雰囲気も、最後には和やかになり、初対面であっても隣席で話す様子も見られた。イベント内で体調不良者が出ることもなく、無事終了することができた。

今後の課題として、参加者の集め方(今回の場合、地区的に見ると田植えの時期であったため、集客状態はやや不良である)、イベント内時間配分が挙げられる。

しかしながら、参加者の笑顔が見られたことや、地域の人から「今後地域の行事に講師としてきてほしい」といった要望が聞けたことは大きな収穫である。

別紙1 当日配布資料(チラシ・腰痛予防体操レジュメ・アンケート用紙)

別紙2 当日写真

別紙3 アンケート集計結果

別紙4 支出表

令和元年度 第2回ほっこりカフェ 報告書

日時 令和元年 10月20日

時間 9時30分～12時30分

場所 吉野麦米 佐賀県神埼郡吉野ヶ里町大曲1407-1

職員（9名）馬場み、井手、吉松、白濱、内田、堤、黒木、吉田、丸山

医師（1名）

ボランティア（7名）

2回目は秋ということもあり、バス遠足を企画した。

参加された利用者様の状態も様々だったため、職員とボランティアスタッフが各々で担当につき移動時の見守り、介助を行いながらお買物を楽しまれた。

総括

今回は秋の運動会シーズンと重なり、地域の方の参加はなかったが利用者様とご家族の参加が多く賑わった。当初予定していた道の駅が山道を登らないといけなかったため、呼吸器をつけた利用者様のコンディションを検討したところ難しいだろうということで、急遽場所の変更となった。

福祉車両とジャンボタクシーと軽福祉車両を乗り合わせた。現地での滞在時間が1時間半ほどあったが、ゆっくりお買物を楽しまれた。普段ゆっくりお買物できない重症児のご家族も楽しんでいた。しかし、必要なものを購入したら他は興味がなく、1時間以上待つてある利用者さんもいたが、職員が周りでお話をききながら待ち時間も笑顔で過ごされていた。

アンケートの結果もよく、次を期待される内容もあった。

お天気にも恵まれて当日のスケジュールは特に問題なく終了した。

次回への反省点として準備段階で、参加者の把握が遅かったためプラン修正が多く余裕がなかった計画するスタートは早めるべきだと思う。

現地の確認は状態が分かる看護師がしたほうが良い。今回、利用者の状態が把握できていない事務とケアマネジャーが行ったため、確認事項に抜けが多くスムーズに準備が進まなかった。

日曜日に行ったので、お店側は平日にしてほしいという要望があった。

添付資料

別紙1 当日配布資料（チラシ、アンケート用紙）

別紙2 アンケート集計結果

別紙3 収出表